

産科婦人科学

1 臨床実習の概要

産科婦人科領域の患者の有する身体的、精神的、社会的問題を正しく把握できるようになるために、抄読会、症例検討会、病棟および手術場における診療の見学を通し、入院患者を中心とした臨床の実際を体験し理解するとともに、将来臨床医として問題解決能力に必要な基礎的知識、技能および態度を認識し身につける。

2 金沢医科大学の到達目標（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技能
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探求心

3 臨床実習の到達目標（アウトカム）：

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 外来や入院中の患者から種々の臨床情報を正確に得る技能、手段を学び、基本的診断・治療法の実際を把握できる（③⑥）
- 患者と医師間の信頼関係を実際に理解し、将来、臨床医としてとるべき基本的態度を身につける（④）
- 性と生殖及び癌に関する臨床を通し、生命の尊厳と医の倫理、医師の義務を述べることができる（①）
- 問診、診察、検査による必要な情報を収集し、POSに従って患者の問題解決に必要な正確かつ記述的な医療記録を作成することができる。また、医学的データを正確に分析し臨床診断と治療方針を説明することができる（③⑥）
- 患者の家庭的、社会的背景を理解し、選択された治療法にそって患者に適切な助言を与えることができるよう一定の見解をもつことができる（①⑤）

※主要な疾患、症候、検査、治療

（婦人科領域）

月経異常、性分化異常、炎症、感染症、性器の形態位置異常、子宮内膜症、子宮筋腫、不妊症、子宮頸癌、子宮体癌、外陰癌、卵巣腫瘍、絨毛性疾患、婦人科不

定愁訴、更年期及び老年期障害など

(産科領域)

正常妊娠、分娩、産褥、胎児発育、妊娠悪阻、流早産、前期破水、胎児仮死、子宮内胎児死亡、子宮外妊娠、胎状奇胎、妊娠高血圧症候群、常位胎盤早剥、前置胎盤、羊水異常、多胎妊娠、血液型不適合、胎盤機能不全、胎児回旋異常、児頭骨盤不適合、胎児仮死、分娩時異常出血、産褥期感染、産褥期うつ症など

4 学 習 方 略

1) 実習日程表：別 記

モーニングレクチャー、医局症例検討会、抄読会などは産科婦人科学医局にて行う。病棟では回診と個別研修を行う。実習症例検討会では代表者から提示された症例を全員で討議する。

2) 実習に必要な基本知識

産科婦人科診断学、治療学および主要疾患についての病因、症状、検査法、予後などの知識

3) 学習の方法 (LS)

- ① 受持医につき、回診、手術、その他の処置を見学する。
- ② 教授回診につく。
- ③ 教授、受持医の診察所見、検査データから症状を理解し、治療方針を学ぶ。
- ④ 手術の見学と立ち合いを行う。なお、担当医から手術方式の内容をよく聞き、解剖学的知識、手術手技を理解する。
- ⑤ 手術患者、分娩前後の産婦の管理を見学する。
- ⑥ プレゼンテーションを行う。(症例検討会)
内容は、担当した患者の病歴、主訴からみた診断予想、症状、診察所見、臨床検査値の動きからみた総合的診断、治療内容などの問題点を学ぶ。
- ⑦ 教室スタッフによる専門誌の抄読会、症例検討会・特別講演などに出席する。
- ⑧ 教育用ビデオなどを見学する。
- ⑨ 下記の与えられたテーマについて文献を検索し、レポートにして提出する。

臨床実習用 産科婦人科領域のテーマ

婦人科疾患

1. 子宮筋腫
2. 子宮頸癌、体癌
3. 卵巣腫瘍 (良性、悪性)
4. 不妊症
5. 骨盤内炎症性疾患
6. 子宮内膜症、子宮腺筋症

産科疾患

1. 正常分娩経過
2. 流産 (習慣性流産を含む)
3. 子宮外妊娠
4. 多胎妊娠、分娩
5. 前置胎盤と癒着胎盤
6. 常位胎盤早期剥離

- | | |
|------------------|-------------------|
| 7. 女性ホルモン異常 | 7. 妊娠高血圧症候群 |
| 8. 更年期障害 | 8. 胎児子宮内発育遅延と先天異常 |
| 9. 月経異常と機能性出血 | 9. 胎児仮死 |
| 10. 多嚢胞卵巣症候群 | 10. 早期・前期破水と早産 |
| 11. 子宮頸がん検診とその予防 | 11. 合併症妊娠 |

4) 産科婦人科学臨床実習に際しての注意

- ① 当科では対象患者が女性であり、生殖に関する問題を取扱うため患者さんが羞恥心、不安を感じるような言動は厳に慎むこと。
- ② 患者さんを不安にさせたり、品位のない話し方は絶対しない。また、患者の病名などの個人情報は無関係な外部の人間にもらさない配慮をする。
患者さんの前ではできるだけ外国語の専門用語を用いる。
- ③ 患者さんの血液検査結果や画像診断資料（C T、M R I など）は電子カルテに保管されているので自由に学習する。

各種会議の集合場所・集合時間

症例検討会、抄読会などは産科婦人科学医局で行われ、教育等講義室等で行われる特別講演などは必ず出席のこと。

5 事前事後学修について

- ① 外来実習前に、産婦人科講義の内容を復習しておく。
(注：基礎的知識のない学生には外来実習をさせない事もある。)
- ② 臨床実習開始前に産科婦人科領域の臨床実習予習ノートを終らせておくこと
【自己学習（事前事後学修）に必要な時間】
実習1日あたり 予習：60分 復習：30分

6 課題（実習中の課題やレポート等）に関するフィードバック

担当患者の提示や口頭試問を実施し、その中で適宜フィードバックを行う。

7 評 価

評価項目	評価割合
レポートの評価：予習ノート	20%
知識レベル：産科	10%
知識レベル：婦人科	10%

症例記録：電子カルテ	20 %
口頭試問	20 %
学習態度(マナー・コミュニケーション・服装・身だしなみ・出席率・積極性)	20%
上記の評価項目を別途定めた臨床実習の評価基準に沿って判定する。	

8 実習スケジュール

別項参照

9 教育担当者

実習責任者：講座主任（産科婦人科学）

担当教員： 講座主任、高木 弘明、高倉 正博、藤田 智子、柴田 健雄、坂本 人一、
佐伯 吉彦、島田 堇

10 参考図書・文献

「標準産科婦人科学」第5版 医学書院（岡井 崇、綾部琢哉 編）

「Williams Obstetrics」25th Edition McGraw Hill Education, Medical

「Berek & Novak's Gynecology」16th Edition Lippincott Williams & Wilkins

「DeSaia & Creasman Clinical Gynecologic Oncology」9^h Edition Elsevier

「病気がみえる」Vol.9 婦人科・乳腺外科 第4版 メディックメディア

「病気がみえる」Vol.10 産科 第4版 メディックメディア

産科婦人科学

臨床実習スケジュール表

8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00	
月		オリエンテーション		臨床実習学習						臨床実習学習				症例検討会・抄読会 [教育担当者全員]							
火		レクチャー [教育担当者全員]		手術見学 [講座主任・高木・高倉]						手術見学 [講座主任・高木・高倉]											
水		8:30～教授回診 [講座主任] (4階西)		臨床実習学習						臨床実習学習											
木		レクチャー [教育担当者全員]		手術見学 [講座主任・高木・高倉]						手術見学 [講座主任・高木・高倉]											
金		「レクチャー [教育担当者 全員]」		臨床推論						臨床実習学習											
月				臨床実習学習						臨床実習学習				症例検討会・抄読会 [教育担当者全員]							
火		レクチャー [教育担当者全員]		手術見学 [講座主任・高木・高倉]						手術見学 [講座主任・高木・高倉]											
水		8:30～教授回診 [講座主任] (4階西)		臨床実習学習						臨床実習学習											
木		レクチャー [教育担当者全員]		手術見学 [講座主任・高木・高倉]						手術見学 [講座主任・高木・高倉]											
金		「レクチャー [教育担当者 全員]」		臨床推論						臨床実習学習				実習症例検討会 [講座主任]							

実習第1日目の集合場所・時間：臨床研究棟3階 産科婦人科学 医局 午前8時30分

レクチャーは、手術等の理由により、日時が変更になります。